



日頃より三井住友海上あいおい生命をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

2011年度の決算の概況や直近の事業活動についてご紹介する、ディスクロージャー誌「三井住友海上あいおい生命の現状」を作成いたしました。当社についてのご理解の一助としてご高覧いただければ幸いです。

2011年度を振り返って

東日本大震災から、はや1年あまりが過ぎました。被災地域の復興は着実に進んでいるものの、原発事故の事後処理など、いまだ多くの課題が残されています。

また、ギリシャ問題に端を発した欧州債務・金融危機、新興国の経済成長鈍化、歴史的な円高の進行など、日本を取り巻く環境は大変厳しい状況が続いています。

当社は、東日本大震災への対応におきまして、被災地域約7万人のお客さまの安否確認を実施し、お客さまへの保険金・給付金のお支払いについても、迅速、誠実を旨とし、ほぼ全件の支払いを完了するなど、保険会社としての大きな使命を、全社一丸となって果たしてまいりました。

こうした中、私ども「三井住友海上あいおい生命」は、2011年10月1日付けで、三井住友海上きらめき生命とあいおい生命の合併により誕生しました。

厳しい経済環境下ではありましたが、当社は会社の成長力を表す「新契約高」の指標において、前期比15.3%増の3兆2,770億円と、大幅な増収を達成しました。

併せて、お客さまの当社へのご満足度を表す指標の一つである「契約継続率」も向上し、保有契約高は前年度末比9.9%増の18兆624億円、保有契約件数は前年度末比11.5%増の222万件となりました。

このように、新会社として順調な船出を果たすことができましたことは、ひとえに皆さまのご愛顧の賜物と心より厚く御礼申し上げます。

2012年度の取り組み

当社は、「中期経営計画(2011年度～2013年度)」において、合併新会社の基本戦略として、「企業価値向上を支える人財の育成」をベースに「品質の向上」「商品・サービスの強化」「事業基盤の拡充」を掲げ、合併によるシナジー効果の最大限の発揮と、持続的な成長と収益力の向上の実現を目指しております。

シナジー効果の最大限発揮に向けて、合併会社2社の融合を進め、それぞれの強みを当社の強みとして一層高めるとともに、要員・組織面では、本社スリム化を進め、営業体制・営業力を一層強化いたします。また、販売面では、当社の最大の強みである生損保クロスセルを中心に、販売基盤を拡充し、お客さまの安心と満足をさまざまなチャネルを通じて提供していくことに加え、確固たる財務基盤のもと、お客さまの生涯にわたるサポートを実現いたします。

引き続き、お客さまの声を経営の原点として、業務改善に活かし、新契約の募集から、保険金等のお支払い、各種お手続きの対応まで、すべてにわたる業務品質の引き上げを図り、お客さま・社会からゆるぎない信頼を得られる企業を目指してまいります。

今後とも、当社をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2012年7月

三井住友海上あいおい生命保険株式会社 取締役社長

佐々木 静